2026年1～9月の米国ワイン輸入額、8億ユーロ減

輸入量の減少と平均価格の下落で米国のワイン輸入額は減少。輸入額の96.7％を容器入りワインが占めた

2026年11月20日（金）



Trade Data Monitorが米国税関のデータを集計し、スペインワイン業界間組織（OIVE）が分析したところ、2026年1～9月の米国のワイン輸入額は約8億ユーロ減少した。輸入量と金額がともに落ち込み、平均価格も下落した。

1～9月の米国のワイン輸入額は合計36億1,000万ユーロで、2025年の同じ期間に比べて約18.1％減少した。輸入量は7億8,994万リットルとなり、約13.9％減だった。米国は海外からのワイン購入量を減らしただけでなく、1リットル当たりの平均支払額も減少した。全カテゴリーの平均輸入額は4.8％下落し、1リットル当たり4.57ユーロとなった。

減少の大半を占めたのは容器入りワインで、輸入額全体の96.7%に上った。このカテゴリーにはスパークリングワイン、容量2リットル未満の容器入りワイン、バッグ・イン・ボックスが含まれ、輸入額は34億9,000万ユーロと17.6%減少した。輸入量は8.8%減の6億1,090万リットル、平均輸入額は9.7%下落し、1リットル当たり5.71ユーロだった。

容器入りワインの中で最大のカテゴリーは、スパークリングワインを除く容量2リットル未満の容器入りワインだった。米国の輸入額は25億2,000万ユーロで、19.3%減少した。輸入量は10.1%減の4億6,532万リットル、平均輸入額は10.2%下落し、1リットル当たり5.41ユーロとなった。このカテゴリーだけで、ワイン輸入額全体の約70%を占めた。

スパークリングワインも減少したが、瓶詰めのスティルワインほどではなかった。輸入額は9億4,759万ユーロで13.6%減、輸入量は6.7%減の1億3,413万リットルだった。平均輸入額は前年同期比7.5%減の1リットル当たり7.06ユーロ。スパークリングワインは、1リットル当たりの平均額で引き続き最も高いカテゴリーだった。

金額と数量の両方が増加した主要カテゴリーは、バッグ・イン・ボックスだけだった。輸入額は16.2%増の2,447万ユーロ、輸入量は32.9%増の1,145万リットルとなった。一方、平均輸入額は12.6%下落し、1リットル当たり2.14ユーロだった。同カテゴリーが輸入額全体の1%未満にとどまるため、増加分は市場全体の幅広い落ち込みを補うには小さすぎた。

バッグ・イン・ボックスを除くと、バルクワインが最も大きく落ち込んだ。米国のバルクワイン輸入額は29.6%減の1億1,891万ユーロ、輸入量は27.7%減の1億7,904万リットルだった。平均輸入額は2.5%下落し、1リットル当たり0.66ユーロとなった。バルクワインは輸入量のほぼ22.7%を占めた一方、輸入額に占める割合は3.3%にすぎなかった。

これらの数値は米国への輸入を示すものであり、小売販売総額や国内のワイン消費量を示すものではない。また、平均輸入額が下落した理由も明らかにしていない。1リットル当たりの平均額が下がる背景には、価格の低下、より安価なカテゴリーへのシフト、輸入元の国や商品の構成変化などが考えられる。

2025年の同じ期間と比べて22.4%減少したものの、フランスは2026年1〜9月も輸入額ベースで米国最大のワイン供給国となり、出荷額は11億3,000万ユーロだった。2位のイタリアは9億2,270万ユーロで、23.2%減少した。両国の合計は20億5,000万ユーロをわずかに上回り、いずれも市場平均を超える落ち込みとなったが、米国の輸入支出の過半を占め続けた。

輸入量で見ると順位は変わる。イタリアが1億9,720万リットルで最大の供給国となり、前年比10.1%減だった。フランスからの輸入量は5.4%減の1億1,560万リットル。フランスは輸出量が少なかったにもかかわらず、イタリアを大きく上回る輸入額を維持した。これは、米国市場に入るフランスワインの平均輸入額がより高いことを反映している。

輸入額ベースで3位の供給国はニュージーランドで、2億3,520万ユーロと14.4%減少した。同国からの輸入量は7.4%減の6,070万リットルだった。スペインは1億5,980万ユーロで続き、米国向け販売額は18.1%減、輸入量は13.6%減の3,480万リットルとなった。いずれも、金額の減少幅が数量の減少幅を上回った。

OIVの分析で取り上げられた国のうち、金額の減少率が最も大きかったのはオーストラリアとチリ

だった。オーストラリアワインの輸入額は39.7％減の7,570万ユーロ、輸入量は36.8％減の4,750万リットル。チリワインは輸入額が37.2％減の5,550万ユーロ、輸入量が32.2％減の3,350万リットルだった。

アルゼンチンは輸入量が2,050万リットルと少なかったものの、輸入額は7,920万ユーロで、オーストラリアとチリを上回った。出荷額は24.2％減、出荷量は16.7％減だった。ポルトガルは、報告書に記載された10カ国の中で輸入額の減少幅が最も小さく、13.1％減の4,860万ユーロだった。輸入量も4.3％減の1,260万リットルと、同グループで最も小幅な減少にとどまった。

ドイツからのワイン輸入額は2,990万ユーロで14.7％減、輸入量は12.2％減の730万リットルだった。記載国のうち輸入額で最下位となったカナダは2,540万ユーロで24.1％減だったが、輸入量では依然として主要供給国の一つだった。カナダからの輸入量は18.4％減の7,800万リットルで、イタリア、フランスに次ぐ規模となった。

OIVによると、容器入りワインに限ると、米国市場でスペインは輸入額、輸入量ともに4位だった。スペイン産の容器入りワインの輸入額は14.9％減の2億220万ユーロ、輸入量は12.4％減の4,310万リットルとなった。

データは、9月までの米国のワイン輸入が広範に縮小し、ほぼすべてのカテゴリーと供給国で購入が減ったことを示している。明確な例外はバッグ・イン・ボックスで、1リットル当たりの平均額が下落する一方、輸入量と金額はいずれも増加した。